

1 教育理念、教育目標等について

- ・「東洋医学の普及と国民の医療・福祉に寄与する」という高邁な建学の精神に基づき、70 有余年にわたり多くの有為な医療人を輩出してこられたことに敬意を表す。
- ・教育理念や教育目標は明確に示されており評価できる。
- ・少子化への対応・養成学校の乱立・按摩マッサージ指圧師の資格取得離れなどの社会状況・関係業界への対応、また古いイメージからの脱却など多くの課題について検討されているが、将来構想の構築にむけて努力されることを望む。

2 各評価項目について

(1) 重点目標について

- ・当校はこれまで、この業界において「赤門」の名のもとに先導的な役割を果たし、多くの優秀な医療人を輩出してきたことは周知の事実である。今後、更に少子化が進む中で、昨年開学した短大看護科との密接な連携を図り、現代医学に東洋医学・伝統医学の融合を図るなど大局的な見地から総合的な学校法人として体制を確立されるよう期待する。
- ・本年度の重点的に取り組むことで必要な目標や計画が明確に示されており評価できる。学校を取り巻く環境が変化して来ているため、スピードを上げて取り組むことを期待したい。
- ・現在大きな転換期にあると思われるので、新しい視点に立って大変革を考えてはどうか。
- ・資格試験に向けての理念や目標は充実していると思われる。卒業後、柔道整復師や鍼灸指圧師が豊かに生活していくために、時代に合った技術を習得できる学校も考えられるのではないか。他校にない、赤門キャンパスでなければ学べない、特色があり社会のニーズに合った、魅力あるカリキュラムを構築してはどうか。

(2) 学校運営

- ・学校運営については、日々努力し適切に運営されており評価できる。今後「教務等の組織整備など意思決定システムの整備」や「情報システム化等による業務の効率化」等の課題解決に向けて経営資源を投入されることを期待したい。
- ・学校運営の方針・運営計画・運営組織等の学校体制は長い歴史と伝統に基づき、円滑に運営されている。更に学生や保護者・卒業生の意見やニーズを積極的に受け止め、学校運営に反映させていただきたい。
- ・学校運営上教職員の共通理解・連携・協力は教職員の意見を入れ共有することが重要なので、教職員の連携強化や人材育成に努められるよう期待する。

(3) 教育活動

- ・教育課程（カリキュラム）は適切であり、教育活動全般にわたり円滑に進められている。また、国家試験への対応についても、全員合格を目指しかなり努力されている様子がうかがえる。
- ・学力・学習意欲が低い学生に対しても、国家試験、資格取得に向けて取り組み、国家試験対策実力試験や補習授業、三者面談を実施するなど学校一丸となって取り組まれていることを高く評価する。
- ・教育活動について、外部環境の変化に対応して進められている事は評価できる。

(4) 学修成果

- ・国家資格取得 100%を目標に模擬テストや実力テスト、補習授業、三者面談など多くの対策を実施し成果をあげていることを評価する。
- ・進路指導、就職指導についても多くの機会を設定し成果をあげていることを高く評価する。
- ・学校の指導体制について卒業生も在校生も高く評価しており、一層の努力を期待する。
- ・学修成果については学習意欲のない学生の増加などで資格取得率や退学率に関して困惑することが多いとの事であったが、初年時教育を充実させ取得する資格の重要性や資格に興味関心を持たせ学習意欲の向上につながる指導に期待する。

- ・「必ず資格を取る。」と志し、入学する学生が激減し、少子化の中で退学者を0にすると頑張る教職員の奮闘が感じられる。自己評価3は、頑張っている方だと思う。

(5) 学生支援

- ・学生支援については、専門実践教育給付金や学生の課外活動、外部団体主催の講演会出席者への助成等が行われており評価できる。また、スクールバスの増便や無人コンビニの設置等も学生の利便性向上を図ったことも評価できる。
- ・学習相談、生活相談、進路・就職相談、経済的支援、卒後支援、課外活動支援等の支援体制は万全を期しており、更に、学生の要望等を調査し、利便性を図っていただきたい。

(6) 教育環境

- ・附属の東洋医学臨床治療所（国分町校舎）が完備しており、臨床実習の充実が図られ、実践的な実技指導が行われており高く評価する。
- ・学校の施設・設備については完備しており恵まれている。年々新しい教育機器や備品等が開発されており、常に整備点検を行う必要があると思われる。

(7) 学生の受入れ募集

- ・学校の存続、適切な運営を図る上で学生の募集活動は大変重要である。宮城県はもとより東北地方一円の高校等への説明会、ガイダンスの回数が86回を数え、その他にもオープンキャンパスを12回実施されており努力のあとがうかがえる。
- ・パンフレット（学校紹介）やポスター等の作成についても工夫され、より効果的なものになるよう期待する。
- ・学生の受け入れ募集については、外部環境の変化に迅速に対応されることを期待したい。
- ・学納金は、入学者にとって良心的な金額であり、当校の魅力の一つにもなっているため、学生募集の強みとして生かされたい。
- ・学生の受入れ数は、(8)の「財務の内容」に連動する。③「今後の改善方策」に、「学生募集活動の地域を再検討し、…募集活動を行う」と記載しているが、募集活動の効果的な方策をとることが望ましい。

(8) 財 務

- ・財務の基盤安定のためには入学者の数、学納金の額、学校運営費の費用対効果等を十分に勘案され適切に運用されるよう望む。
- ・財務については学納金収入減に対応しながら適切に運用されており評価できる。また、財務基盤を安定させるためには入学者数の増加が必須であり積極的な学生募集活動を期待したい。
- ・(7)「学生の受入れ募集」と同じく、③「今後の改善方策」において「財政基盤安定…学生募集活動を積極的に行う」と記載しているが、効果的な方策を考えることが望ましい。

(9) 法令等の遵守

- ・法令等の遵守は適切に運用されており評価できる。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・社会貢献・地域貢献については、学校の特色を生かし、学園祭活動や赤十字活動等積極的に行われており評価できる。

(11) 国際交流

- ・外国人が日本を訪れる機会が多くなっているので、東洋医学の良さを伝えるべく外国人の患者も受け入れ、積極的に活動していただきたい。
- ・国際交流については必要に応じてではあるが、適切に運用されており評価できる。